2024年11月1日

総合型選抜入試合格者の皆さんへ

文教大学文学部英米語英米文学科

このたびは、英米語英米文学科に合格おめでとうございます。

文教大学では大学入学前のみなさんに宿題を出すことで、スムーズな大学生活のス タートをサポートしています。

本学科は以下の 2 つの課題を用意しています。次ページの「課題提出要領」をよく 読んで、それぞれの課題に取り組んでください。締切は2025年3月14日(金)です。

課題

1.「スーパー英語」を利用し、英語の自主学習をする。

2. 小論文を書く。

英米語英米文学科の教員一同、来年 4 月に皆さんにお会いするのを楽しみにしております。

英米語英米文学科 課題提出要領

■課題内容

- 1. 英語学習教材「スーパー英語」(※11月8日から利用可能です)
 - (1) 別紙の説明を参照してログインする。
 - (2) Selected Training (課題) を全て解く。
 - (3) TOEIC mini テストを受験する。
 - * 学習状況はシステムで確認します。完了報告などは必要ありません。

2. 小論文

- (1) 別紙の小論文の問題を解く。
- (2) パソコンのワープロソフト(Wordなど)を使用して、解答をA4サイズ1~2枚 にまとめる。氏名を明記すること。
- (3) Word または PDF ファイルを Eメールに添付して提出する。
- (4) 引用をする場合には出典を明記する。出典を示さないウェブからのコピー&ペ ーストは禁止。
- (5) 生成 AI を使用した場合は、そのことを明記する。

```
■締切
```

2025年3月14日(金)

■連絡先

文教大学文学部英米語英米文学科 eijun@bunkyo.ac.jp

- * 課題について質問がある場合や小論文の解答は、上記アドレスに送って下さい。
- * 解答を送る際のタイトルは「総合型選抜入学前課題提出」として、氏名や受験 番号を明記して下さい。

利用開始日:合格発表日から1週間後

利用には、ログイン ID、パスワードが必要です。対象者に対しインターネット出願のマイページにてお知らせ いたしますので確認してください。

Step1利用開始日になったら、PC・タブレット等から以下の URL にアクセスする※URL をクリックするか、コピーしてブラウザのアドレスバー、または検索エンジンに貼り
付けてアクセスしてください。
※お気に入り、ブックマーク等に登録することを推奨しますスーパー英語
URL:https://campus.bunkyo.ac.jp/entrance/supereigo.html
QR コード:

Step2 「スーパー英語ログイン」のページが開いたら、「学生ログイン」を選択する



Step3 ログイン ID、パスワードを入力、「<mark>その他</mark>」を選択してログインする

之 文教大学	
ログインID	
パスワード	
パスワード	
○本学ユーザII ● その他	
	ログイン

ログイン ID:パスワードについては受験時のマイページにてご案内します

Step4 各学科・専修が指定する課題内容に取り組む

操作ガイド:動作環境等については、以下の URL から確認できます。

URL: https://www.supereigo.com/academic3/images/student_manual/onlinemanual.pdf



以下の文章を読んで、後の二つの設問に答えなさい。

知り合いの青年に「本は読まないの?」と尋ねたら「ほむらさんはダンスしないんです か?」と聞き返されたことがあります。読書は人生の必修科目でダンスは選択科目、という のはもう古い感覚らしい。

飲み会注における「とりあえずビールで乾杯」やライフイベントとしての結婚が必修科目 ではなくなったように、すべてが自由意思による選択科目という世界では、読書だけが特別 ということもなくなるんだろう。

そう思いながらも、「読書は楽器やスポーツと同じように趣味の範囲であり、読んでも読 まなくても構わないのではないか」と改めて問われると、「賛成です」と答えることに不安 と躊躇いを覚えます。

それはどうしてなのか、考えてみました。一つ思い当たったのは、読書という行為は言葉 と密接に関わっている、ということです。

読書が「楽器やスポーツと同じように趣味の範囲」というのは、 愛いはその通りなのかも しれません。「楽器」がなくても「スポーツ」がなくても、そして読書がなくても、生きて ゆくことはできる。その意味では確かにいずれも「趣味の範囲」と云えそうです。

■生きてゆけるが

でも、言葉そのものはどうなんだろう。それも「趣味の範囲」なのか。いや、他者とのコ ミュニケーションに必要というだけではなくて、誰にも会わず一言も話さない日でも、私た ちは心の中で無意識に言葉を使っています。それなくして生きることはできない、と思える ほどに。

映画などで、親から出生の秘密(「実はお前は私がお腹を痛めた子じゃないの」とか「お 前たちは本当は血を分けた兄妹なんだ」とか)を告げられた主人公がショックを受ける、と いうシーンを見ることがあります。

それまで信じていた世界が親の言葉によって覆ったのです。いや、正確にいうと覆ったの は世界ではない。荷故なら、親が子供に出生の事実を語る前と後で血の繋がりや DNA が変 化したわけではないから。その意味では、物理次元の世界は何一つ変わってはいない。つま り、親の言葉で覆ったのは世界そのものではなく、主人公の心の中の世界像ということにな ります。

1

■内なる言葉の塊

ならば、私たちが一つの共通の世界に生きているというのは実は錯覚で、本当は一人一人 の内なる世界像を生きているに過ぎないんじゃないか。そして、どうやら言葉はそのことに 深く関わっているらしい。

私がイメージしたのは蜘蛛と糸と巣の関係です。蜘蛛が自分の糸だけで編んだ巣の上で生 きるように、我々も普段は意識しないけど、自らの内なる言葉(糸)が作り出した世界像 (巣)の上で生きているんじゃないか。つまり、人間は言葉の介在無しに世界そのものを 症 に生きることはできないんじゃないか、と。

逆に云えば、言葉によって世界像は書き換えられることになる。エスカレーターに立って いる時、その横をガンガンと大きな足音を立てて降りてゆく女性がいます。その度に帯やし ていたら、或る時、知人に「サンダルの構造上ああなっちゃう、カスタネットガールという 種族なんです」と教えられました。すると、不思議なことに、彼女たちに出会っても「あ、 カスタネットガール」と、むしろ面白く感じるようになりました。私が忍耐強くなったわけ ではなく、一つの言葉を知ったことによって世界像が変化したのです。

この例からも分かるように、読書という行為だけが内なる言葉を養うわけではない。でも、 本が言葉の、すなわち他者の世界像の塊であることもまた確かです。私が読書に特別な意味 を見出したくなるのはそのためではないか、と考えました。

> (穂村弘「(ひもとく)番外編 読書は必要? あなたの『世界』を変えるかも」 『朝日新聞』2017年4月16日、p.9)

注 グループで集まって酒を飲む会。「飲み会」で飲酒する人は、一杯目にビールを注文することが 慣例だった。

【設問I】

読書が必要だと筆者が考える理由を、200字程度でまとめなさい。

【設問Ⅱ】

自分の人生において読書は必要なものか、それとも必ずしも必要ではないものかを、まず 書きなさい。そして、そのように自分が考える理由を2つ挙げ、合計600字程度で説明しな さい。ただし、読書が必要なものだと考える場合には、本文の筆者とは異なる理由を書きな さい。

2